

戦国武将の

熱い息吹が聞こえてくる

特別展『戦国BASARA』HERO武器・武具列伝開催中

備前長船刀剣博物館では、9月4日(日)まで特別展『戦国BASARA』HERO武器・武具列伝を開催しています。

近年、全国的に美術館、博物館などで文化遺産と現代文化(漫画やアニメなど)を融合した特別展示が盛んに行われています。

備前長船刀剣博物館では、戦国時代の武将が数多く登場する『戦

国BASARA』に注目し、武将にまつわる武器・武具を展示する特別展を開催しています。

仮想の世界と現実の歴史をつなぐ特別展示です。『戦国BASARA』のファンだけでなく、多くの皆さんの来場をお待ちしています。

『戦国BASARA』とは

(株)カプコンが2005年に発売したテレビゲーム(シリーズで7作発表)を発端とし、TVアニメ、劇場版、舞台、Webラジオなどさまざまなメディアで複合的に展開し、若者間で支持を得ている作品です。

戦国時代に活躍した武将たちに大胆なアレンジを加え、スタイリッシュに描いています。また独自のストーリー、独特なせりふや演出により、独自の世界観を展開しており、多くのファンを獲得しています。

代表的な23人です。キャラクターイラストとともに、武器・武具を展示します。次に紹介するのは、その一部です。

この作品により歴史好きの女性が増したともいわれ、社会現象としてニュースなども取り上げられています。

- ・伊達政宗関連：太刀、刀、脇指、土俵空穂(矢を納める筒)
- ・真田幸村関連：刀
- ・徳川家康関連：太刀、鉄砲、刀
- ・石田三成関連：刀
- ・長宗我部元親関連：かざり
- ・豊臣秀吉関連：野点茶道具
- ・島津義弘関連：太刀、大鎧、火縄銃
- ・黒田官兵衛関連：大筒(大口径の火縄銃)、馬印、兜
- ・本多忠勝関連：短刀、兜
- ・前田家関連：短刀二口
- ・雑賀孫市関連：二連式銃、兜

展示品紹介

『戦国BASARA』に登場する武将などのキャラクターのうち、今回の特別展で紹介するのは

体験型イベント

特別展の期間中、木・土・日曜日には次の講座やイベントなどを実施します。

- ・日本刀手入れ講習会
- ・戦国武将銘切りキーホルダー
- ・甲冑着付体験&撮影会
- ・刀バラバラ体験教室
- ・戦国武将小柄小刀作成
- ・刀ペーパークラフトに挑戦!
- ・古式鍛錬公開・体験
- ・めでたい組紐をつくろう!
- ・戦国ペーパーナイフ作り
- ・戦国勝ち袋(匂袋)をつくろう!
- ・日本刀鑑賞初級者講座
- ・戦国やきもの絵付け道場(全日)

見どころ紹介

日本刀だけでなく、火縄銃や弓矢、兜や大鎧、女性用腹巻、南蛮鞍などの南蛮馬具一式、馬印、首桶など、今まで当館では展示したことがないものを多数展示します。ほとんどが武家に代々受け継がれたとされる伝来品であり、見応えがあります。

また、『戦国BASARA』の

23人のキャラクターの等身大パネルを設置しています。記念写真などを自由に撮影できます。

▽期間 9月4日(日)まで
※期間中は無休です。

▽開館時間 午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

▽入館料
・大人500(400)円
・高・大学生300(250)円
・中学生以下無料

※()は20人以上の団体料金です。

■問い合わせ先
備前長船刀剣博物館
☎0869-66-7767
HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/~osa-token/>



△土俵空穂 △林心流八十匁大筒 △南蛮鞍 △鉄錆地七枚張雑賀兜

同時開催 『戦国BASARA』イラスト展

備前長船刀剣博物館の特別展に合わせて、瀬戸内市立美術館では『戦国BASARA』イラスト展~バサラの世界~を開催します。

『戦国BASARA』シリーズのキャラクターデザイン土林誠氏のイラストを展示します。

画集を発売するなどしている人気デザイナーの独特なタッチで描かれた、一味違った『戦国BASARA』の世界をご覧ください。
※展示するイラストは発表済みのものです。

- ▷期間 8月6日(土)~9月4日(日)
- ※休館日は毎週月曜日です。
- ▷開館時間 午前9時~午後5時
- ▷会場 瀬戸内市立美術館
- ▷入場料 無料
- 問い合わせ先
瀬戸内市立美術館
瀬戸内市牛窓町牛窓4911
☎0869-34-3130



©CAPCOM CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.